

「ひなたの家」に入居される方へ

「ひなたの家」にご入居の申し込みをいただき、ありがとうございます。
これからどのような生活になるのか、どのような物品が必要になるのかなど、ご不安なことも多いと思います。主な内容について下記のとおり Q&A をまとめましたのでご参照ください。
これ以外にも疑問点があれば、遠慮なくスタッフにお問い合わせください。

Q1. 「ひなたの家」はどんな運営方針ですか？

①ご自宅と同じように自分らしく過ごしていただくことが目標です。

必要なとき以外は、ご本人やご家族の時間を大切にさせていただけるように心がけます。
施設のような日課ありません。あくまでご本人のペースで一日を過ごしていただき、私達はできる限りその方の生活を優先した関わりをしたいと考えています。

②ご家族の介護をサポートする姿勢です。

施設に入るのではなく、ご本人は一人暮らしを始められるとお考えください。食べる、排泄する、清潔にする、着替える、運動する、気分転換するなどの生活全般を送るにあたって、ご家族として、いつ、どのような形で支援(介護)ができるのかをご検討ください。ご本人やご家族ができない部分、難しいところを私たちスタッフがお手伝いさせていただきます。

私たちスタッフからケアについてのご提案をさせていただくことはあります。例え良かれと思っても、ご本人やご家族の同意のないケアを勝手に行ったりはしません。逆にご希望であれば、リスク覚悟の難しいケアも行います。

③ご本人とご家族とのつながりを大切にします。

ご自分の家ですから、ご家族の来訪はどんな時間でも自由です。泊まったり、住んだりしていただくことも可能です。食事をしたり、寝たり、お風呂に入ったり、テレビを観たり、散歩に行ったり、一緒に時間を過ごすことができるよう配慮します。

④ご自宅で使い慣れた家具や物品を使っていただきます

ご自宅で使い慣れた物、お気に入りの物をご持参ください。余計な出費も抑え、なによりご本人の気持ちに安らぎます。また、時計や予定を書き込んだカレンダー、懐かしい写真や趣味に関わる物品などがあれば、コミュニケーションも深まり生活に潤いができます。

Q2. 入居に当たってどのような物を準備すればいいですか？

☆以下に必要物品の説明をいたしますが、まずは自宅にあるものだけをご持参いただき、新たに購入しないでください。入居されてから、ご本人にとって本当に必要なものの説明を受け、取り揃えていただきますようお願いいたします。

○衣類(パジャマ、外出着、下着類、オムツなど)

衣類については、少なくとも入浴時、週3回の交換を心がけてケアをしていますが、ご本人やご家族の希望を優先します。着替えの回数、洗濯をされる間隔やおむつ交換の回数を考えて、必要な枚数をご準備ください。準備するオムツの形態や大きさなどがわか

らない場合は、ご相談ください。

- 寝具(敷シーツ、かけ布団とシーツ、枕、枕カバー、体位変換用クッション)
特にご要望や汚染がなければ、1週間に1回シーツと枕カバーを交換します。これも、交換や洗濯のタイミング、汚染の可能性を考えて、必要な枚数をご準備ください。敷シーツは、シングルのボックスタイプがどんなマットレスにも使えて便利です。クッションは、日ごろ使われているものや座布団、余っている枕などで構いません。掛け布団は、季節に合わせてご用意ください。
(ベッド、マットレスなどは、福祉用具でレンタルができますのでケアマネージャーにご依頼ください。)
- 洗面用品(歯ブラシ、歯磨き粉、コップ、洗面器、洗顔石鹸、タオル、ヘアブラシ、耳かき、めん棒、肌クリーム(保湿剤)、髭剃り、吸い飲み、ガーグルベース、口腔ケア用品)
吸い飲みやガーグルベース、口腔ケア用品が必要な状態かどうかは、お尋ねください。
- 入浴用品(石鹸、シャンプー、リンス、身体を洗うタオル、バスタオル)
バスタオルは、介助入浴の場合大きめで3枚は必要です。清拭や洗髪の際にも1枚は使用します。ご病状や洗濯の間隔に合わせて、必要枚数を準備ください。フェイスタオルは、温泉でもらえるようなタオルが便利です。5～6枚あれば十分です。ボディ石鹸やシャンプーなどは、できればポンプ式のものが介助もしやすいです。
- 洗濯用品(洗濯物入れ、洗剤、タコ足の物干し、ハンガー、洗濯はさみ)
洗濯物を入れる袋やボックス又はかごは必要です。物干しやハンガーはタオルを干したり、小さな汚れ物や濡れ物を干したりします。洗濯をスタッフに依頼されない場合も、急な汚染の場合に洗濯させていただくこともありますのでご準備ください。
- 食事用具(茶碗、湯飲み、箸など)
食器類は、共有のものを使うこともできます。今まで使っておられたものがあればご持参ください。お好きな調味料などがあればどうぞご持参ください。
- ボックスティッシュなど衛生用品
ご自分用に準備ください。こちらで準備してよろしければ、ボックスティッシュは1箱60円前後(時価)でお分けもしています。それ以外にも絆創膏など必要なものがあれば、ご相談ください。トイレットペーパーは、「ひなたの家」で共有しているものをお使いいただけます。(共益費に含まれます)
- 食べ物、食材
食事を食べられる場合、間食をされる場合は、食材をご準備いただくことになります。ご家族が買い物にいけない場合、調理ができない場合は、介護スタッフがサポート致しますので、ご相談ください。お茶を飲まれる場合は、お茶の葉もご準備ください。
- 家具、収納用品、延長コンセント
机、椅子、三段ボックス、収納ボックスなどはお部屋の収納棚や広さに合わせて大きすぎないものをご準備ください。今までお使いの家具もお部屋に入るものであれば使えます。電動ベッド、テレビなど電化製品をお使いになる場合、延長コンセントは1個以上必要な場合が多いです。
- テレビ(ご覧になる場合)、コンピューター、携帯電話など
テレビアンテナの端子は各部屋についています。アンテナ線も必要な長さでご準備くだ

さい。携帯電話は使用可能です。インターネットをしたい場合は、ご相談ください。

○ゴミ箱、ゴミ袋

普通のゴミ箱とそれに合わせたゴミ袋(コンビニ袋のようなタイプ)をご準備ください。オムツを使用されている場合は、一回の交換ごとにナイロン袋に入れて共有のゴミ箱に捨てますので、小さいサイズのナイロン袋をご準備ください。(どのくらいのサイズが良いかはスタッフにお尋ねください。) ごみは、毎日1～2回各部屋から集めて、可燃ごみは週に3回、回収車がきて処理しています。不燃ごみや粗大ごみは地域の回収日に出します。

○その他

ご本人にとって生活するのに必要な物品は、ご持参いただいて構いません。嗜好品(たばこ、お酒)も可能です。ただし、他の入居者様のためにも基本的には家屋内禁煙ですので、たばこは、原則戸外、もしくは自室のみとさせていただきます。ただし、自室であっても、ご家族の喫煙はご遠慮ください。

Q3. 持ち込んではいけない物はあるの？

一般的な危険物の持ち込みはご遠慮ください。ペットは可能です。(ご家族等ペットの世話のできる方がいらっしゃる場合のみとさせていただきます)
基本的に、他の入居者に迷惑がかかる物をご遠慮いただきます。

Q4. 共有スペースと共有できる備品にはどんなものがあるの？

共有スペースは、リビング、キッチン、トイレ、浴室、玄関、テラス、庭、駐車場となっています。

共有備品は、冷蔵庫、電子レンジ、トースター、ガスコンロ、炊飯器、食器洗浄乾燥機、食器棚と食器、なべやフライパンなどの台所用品です。

消耗品として、トイレトペーパーや台所洗剤は共用品としてお使いください。

Q5. エアコンはついてますか？

各部屋にエアコンを設置しています。温度設定などお好みでご自由にお使いください。

Q6. 部屋にカーテンや電灯はついてますか？

洋室にはカーテン、和室には障子かブラインドカーテンがついています。室内灯はリモコン式がついています。手元灯が欲しい場合は、ご持参ください。

Q7. 「ひなたの家」のスタッフは何人でどのような体制ですか？

日勤者(9時～17時45分)は、2軒で5～8人体制となっています。

1軒に一人夜勤(17時～翌日10時)をしています。

Q8. 面会時間はありますか、行ってはいけない時間帯などもありますか？

基本的にありません。ご家族であれば、いつお越しいただいてもご本人とお会いできます。

ただし、夜 18 時ごろから、朝 8 時ごろまでは、玄関に鍵がかかっています。ドアホンを鳴らしていただいたら、スタッフが鍵を開けます。夜間は、ケア中の場合があり、すぐに対応できず数分はお待ちいただくことがございます。事前に何時ごろに来られるか連絡していただくとスムーズです。

ご家族ではない方などで、ご本人に確認してお会いになりたくない時には、遠慮いただくこともあります。

Q9. 部屋などの掃除、洗濯はしてもらえるの？

室内の掃除や整理整頓、洗濯などは、ご家族が責任を持って管理して下さるようお願いいたします。毎朝、室内の床掃除と雑巾がけはさせていただきます。また、共有スペースの掃除はスタッフが行います。

Q10. 医師は居るのですか、医療を受ける体制はどのようなになっているの？

「ひなたの家」に、医師は居ません。外来に受診できる場合は、ご家族とともに受診するという方法もとれます。受診できない場合は、今までのかかりつけ医の先生に往診に来ていただくか、紹介状を書いて訪問診療医に依頼してもらいます。訪問診療医については、特に指定はありませんが、心当たりがない場合はご相談ください。

Q11. 緊急時にはどのような対応をしてもらえるの？

24 時間対応で、看護スタッフがおりますので、状況を判断し、ご家族に相談した上で、救急車で病院に行くのか、訪問診療医師の到着を待つのか、その医師の指示を受けて看護師が処置をするのかを選択します。

看取りの場所として、この家を選択し、むやみな延命治療を希望されない場合は、緊急時にも救急車を呼ばず、ご家族とともに看取りをさせていただきます。

Q12. 地震や火事、災害のときの対策は大丈夫？

業務継続計画を作成し、有事の際の備え(食料・水の備蓄、ライフラインの確保)はしています。また、避難経路やスタッフの行動確認をしています。

しかし、特に夜間は最大 4 人のスタッフでの対応となるため、大災害時などにはご家族ができるだけ早く駆けつけていただきますようお願い申し上げます。

尚、「ひなたの家」は平成 23 年 3 月新築、また「ひなたの家母屋」は平成 29 年 3 月新築でそれぞれの年度の耐震・耐火基準を満たした構造となっています。